



災害に強い県土と 活力ある地域づくりを目指して

～浜通りの復旧・復興の加速化に向けた取り組み～

平成23年3月に発生した東日本大震災は、福島県に甚大な被害をもたらしました。県では、平成25年度を「復興加速の年」と位置付け、災害に強いまちづくりを始めとする「安全・安心な暮らしの確保」のため、全力で取り組んでいます。

福島県の公共土木施設の復旧に携わる者として、復興の理念を掲げ、これをしっかりと共有し、被災者に寄り添いながら、県土の再生・復興に邁進することを決意しています。

復興理念

1. 復旧・復興を成し遂げること、それが私たちの「使命」
2. 山積する課題に立ち向かうこと、それが私たちの「挑戦」
3. 子供たちの未来を切り拓くこと、それが私たちの「責任」
4. ふくしま復興の軌跡を残すこと、それが私たちの「誇り」



海岸堤防等の復旧・整備

津波に強い地域づくりを目指して

新たな津波などの災害に対応するため、被災した海岸堤防83箇所、約55kmの復旧・整備や、内陸への津波のかけ上がりに対応した河川堤防等32河川39kmのかさ上げを進めています。

ピッチを上げて
進めています

復旧工事の 状況

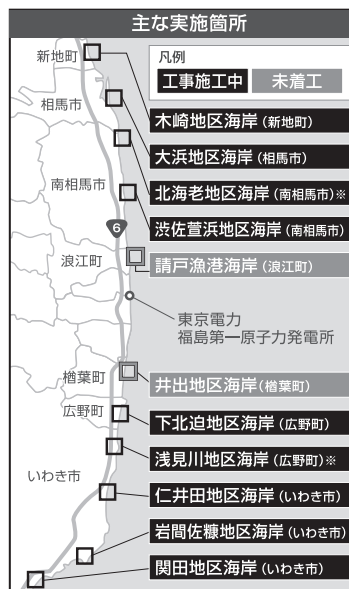
- ▶ 海岸堤防は約61% (完了1%)
 - ▶ 河川・堤防は約13% (完了0%)
- の箇所で工事に着手しています。



○海岸堤防のかさ上げ工事【いわき市勿来町関田地区海岸堤防の工事状況】



目標 平成27年度



復興のまちづくり

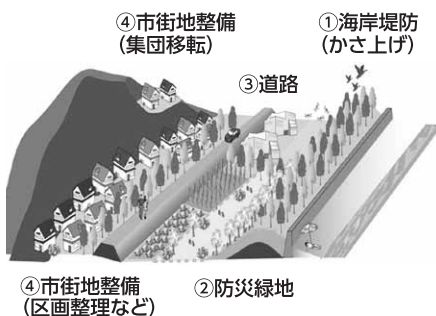
「一線防御」から「多重防御」へ

地域の
総合防災力の
向上が目的です

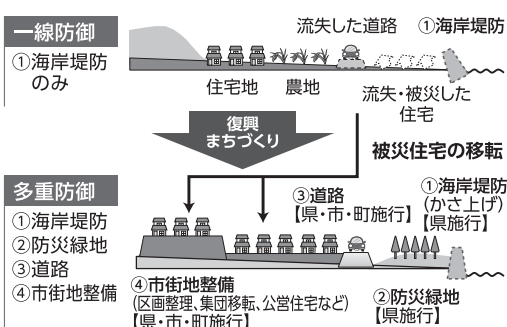
津波により太平洋沿岸部の約112km²が浸水被害を受けたことから、地域における住民の命や財産を守るため、海岸堤防による「一線防御」から、防災緑地、道路、市街地などを含めた「多重防御」のまちづくりを進めています。

現在は、市町村や住民の皆さまと、協働によるまちづくり計画の作成を地区ごとに進めており、一部地域では用地買収や造成工事が開始されています。

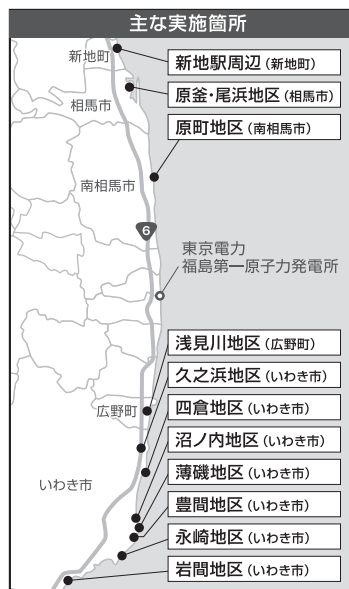
○復興まちづくりのイメージ



○「一線防御」から「多重防御」へ



目標 平成27年度



▶ 免除証明書の取り扱いについて

(1) 以下の市町村に住所を有する介護保険の被保険者は、引き続き、免除証明書の提示は不要です。

広野町、檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村

(2) (1)以外の市町村に住所を有する介護保険の被保険者は、自身が加入する各介護保険者(市町村)にお問い合わせください。

問い合わせ先 ●各市町村(保険者)の窓口をお願いします。

③ 「ふくしまの赤ちゃん電話健康相談」について

妊娠中や小さなお子さんに関する健康や育児の不安、悩みに助産師がお答えします。

対象者	県内の妊産婦・乳幼児の保護者 ※県外に避難している県民の方、県内に里帰りしている方も利用できます。
内容	(1) 妊産婦の健康相談、母乳相談、子育ての相談 (2) 母乳の放射性物質濃度検査と保健指導
相談時間	月曜日～金曜日(祝日を除く) 午前9時30分～午後4時30分
相談電話	福島 ☎①024(573)0274 ②080(2835)9988 会津 ☎0242(85)8303 いわき ☎①080(2826)4604 ②080(827)3005

相談は無料です。
相談内容の秘密は必ず守ります。



母乳の放射性物質濃度検査の結果について

平成24年6月～平成25年10月まで、母乳の放射性物質濃度検査を希望された方504件について検査を実施しましたが、すべて放射性セシウムは検出されませんでした(検出限界値セシウム134,137 各2Bq/kg未満)。

問い合わせ先 ●県庁 児童家庭課 ☎024(521)7174 (平日:午前8時30分～午後5時15分)

●ホームページ [ふくしまの赤ちゃん電話健康相談](#) [検索](#)

④ 心のケアに関する相談窓口

疲れが抜けない、だるい、寝つきが悪い、イライラするなど、何となく不調が続くことはありませんか。福島県では被災された皆さまにご相談いただける窓口を開設しています。まずはお気軽にご相談ください。

◆ふくしま心のケアセンター(福島県精神保健福祉協会)

震災後、気になり始めたところの疲れ、お話ししてみませんか? 相談内容など秘密は必ず守ります。

○被災者相談ダイヤル「ふくここライン」 ☎024(531)6522

平日:午前9時～正午、午後1時～午後5時 [土日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)は除く]



◆よりそいホットライン(一般社団法人 社会的包摂サポートセンター)

どんなひとの、どんな悩みにもよりそって、一緒に解決する方法を探します。



○よりそいホットライン ☎0120(279)338 24時間通話無料。携帯電話(PHS)、公衆電話からつながります。

◆県外における心のケア拠点

山形県

毎月「まちの保健室」を開催し、保健師・助産師・看護師が健康に対する相談に丁寧に対応します(日程等の詳細はお問い合わせください)。

問い合わせ先

公益社団法人 山形県看護協会
☎023(685)8033



千葉県

千葉に避難されている方を対象に臨床心理士がお話を伺います。どうぞお気軽に、ほっと、お電話ください。

○電話相談

「ほっとラインしゃくなげ」



日時

毎月第1・3日曜日 午後1時～午後5時

相談専用電話番号

☎043(376)3638

問い合わせ先

一般社団法人 千葉県臨床心理士会

☐csccp@fg8.so-net.ne.jp

東京都

都内に避難されている皆さまを対象に避難生活上の心配ごとや不安について、臨床心理士がきめ細やかにお話を伺います。

①電話相談(年末年始は除く)

日時

毎週木曜日 午後7時～午後9時
日曜日 午前10時～午後2時

相談専用電話番号

☎03(3813)9017

②メール相談(随時)

相談専用メールアドレス

☐sodan@fk-tscpp.org

問い合わせ先

一般社団法人 東京臨床心理士会

☎・FAX 03(3818)1176

なお、他の県についても窓口の設置に向け関係機関との調整を進めています。

問い合わせ先 ●県庁 障がい福祉課 ☎024(521)8204



警戒区域などにおける環境放射能測定値の推移

警戒区域などの測定値の一部をお知らせします(測定時間はそれぞれの日付の午前8時となります)。

(単位:μSv/時)

市町村名	設置箇所	平成24年 11月20日	平成25年 5月20日	平成25年 11月20日
川俣町	山木屋駐在所	0.78	0.70	0.55
南相馬市	横川ダム	1.22	1.00	0.80
	小高区役所*2	0.15	0.13	0.12
	石神生涯学習センター*2	0.45	0.40	0.35
広野町	広野町役場*2	0.15	0.14	0.13
	二ツ沼総合公園*1	0.29	0.20	0.17
楡葉町	旧楡葉消防分署*1	0.26	0.23	0.18
	繁岡地区集会所*1	0.96	0.56	0.42
	中平集会所そば*1	0.92	0.77	0.48
富岡町	旧富岡町役場*1	3.11	2.58	2.13
	JAふたば南部営農センター*1	1.49	1.25	1.05
	養護老人ホーム東風荘	3.77	3.56	3.15
川内村	川内村役場*2	0.13	0.10	0.10
大熊町	原子力センター*1	4.35	3.48	3.03
	小入野向畑地内*1	5.42	4.98	4.37

市町村名	設置箇所	平成24年 11月20日	平成25年 5月20日	平成25年 11月20日
双葉町	石熊公民館	9.76	9.10	7.69
	山田多目的集会所*1	18.04	15.58	13.24
	双葉町体育館*1	4.89	4.35	3.79
浪江町	中央公園*1	0.90	0.78	0.70
	浪江ひまわり荘	2.78	2.66	2.34
	津島活性化センター*2	1.19	0.96	0.78
葛尾村	柏原地区	4.76	4.31	3.75
飯館村	飯館村役場*2	0.80	0.74	0.70
	長泥コミュニティーセンター*2	1.09	0.98	0.82

○県内7方部の代表地点の放射線量

方部	設置箇所	平成24年11月20日	平成25年5月20日	平成25年11月20日
県北	県北保健福祉事務所*2*3	0.77	0.35	0.31
県中	郡山合同庁舎*2*4	0.50	0.20	0.17
県南	白河合同庁舎*3	0.19	0.13	0.12
会津	会津若松合同庁舎*3	0.10	0.08	0.07
南会津	南会津合同庁舎*3	0.06	0.05	0.05
相双	南相馬合同庁舎*4	0.31	0.15	0.14
いわき	いわき合同庁舎	0.10	0.09	0.09

*1は、福島第一原子力発電所の事故前から設置されているモニタリングポストであり、地面からの高さは約3m(その他のモニタリングポストは事故後に設置されたものであり、地面からの高さは1m)。*2は、モニタリングポスト周辺の除染を実施済み(平成25年5月31日までの実績)。*3は、平成25年4月1日に可搬型から固定型のモニタリングポストに機種を変更。*4は平成25年4月1日に可搬型から固定型のモニタリングポストに機種変更し、設置場所も変更。

問い合わせ先

●環境放射能測定結果に関する問い合わせ先 ☎024(521)1917

または、下記ホームページでも最新情報をご覧ください。

【PC】

【携帯】「福島県内各地方環境放射能測定値」で検索してください。



本県の意向調査へのご協力をお願いします

この度、福島県では、県内外に避難されている全ての県民の皆さまを対象に、**来年1月**に意向調査の実施を予定しております。この調査は、皆さまの現在の生活状況やご意向について改めてお聞かせいただき、今後の支援に役立てることを目的として実施するものです。

※平成26年1月中旬頃を目途に、本県から避難先の各世帯に調査票をお送りする予定ですので趣旨をご理解いただき、調査にご協力くださいますようお願いいたします。



本件に関するお問い合わせ

●県庁 避難者支援課 ☎024(523)4157

ご意見を
お寄せ
ください!

読者アンケート

アンケートにご協力いただいた方の中から
抽選で合計10名様に、プレゼントが当たります!

手作りそばにチャレンジ!

そば打ち体験チケット



※写真はイメージです。

5名様

全国のデパートなどで使える!

JTBナイスギフト 3,000円分



5名様

さらに
外れた方
の中から
抽選で

郵便はがきに「こんな情報が知りたい!」「こんな情報があれば役に立つ」というご意見をお書きのうえ、住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記して下の宛先までお送りください。

応募先 〒960-8670

県庁避難者支援課「読者アンケート」係

締切 1月10日(金) ※当日消印有効

※お預かりした個人情報はプレゼントの発送にのみ使用いたします。
※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。



編集者

今年の冬も阿武隈川では渡り鳥が羽を休めています。白鳥にとっては、今も昔も変わらない福島がそこにあることを知り、私も今の福島を分かりやすく一人でも多くの方に伝えていきたい、との気持ちを新たにしました。【トリ】

特集

お知らせ

原子力
損害賠償

生活支援

雇用・経営

住宅

医療・介護
健康

環境放射能
測定結果

意向調査の
協力依頼

ふくしまの **今** が分かる

発行：福島県避難者支援課
☎024-523-4157

※この広報誌は「クウェート救済金」を財源として発行しています。

新聞  拡大版

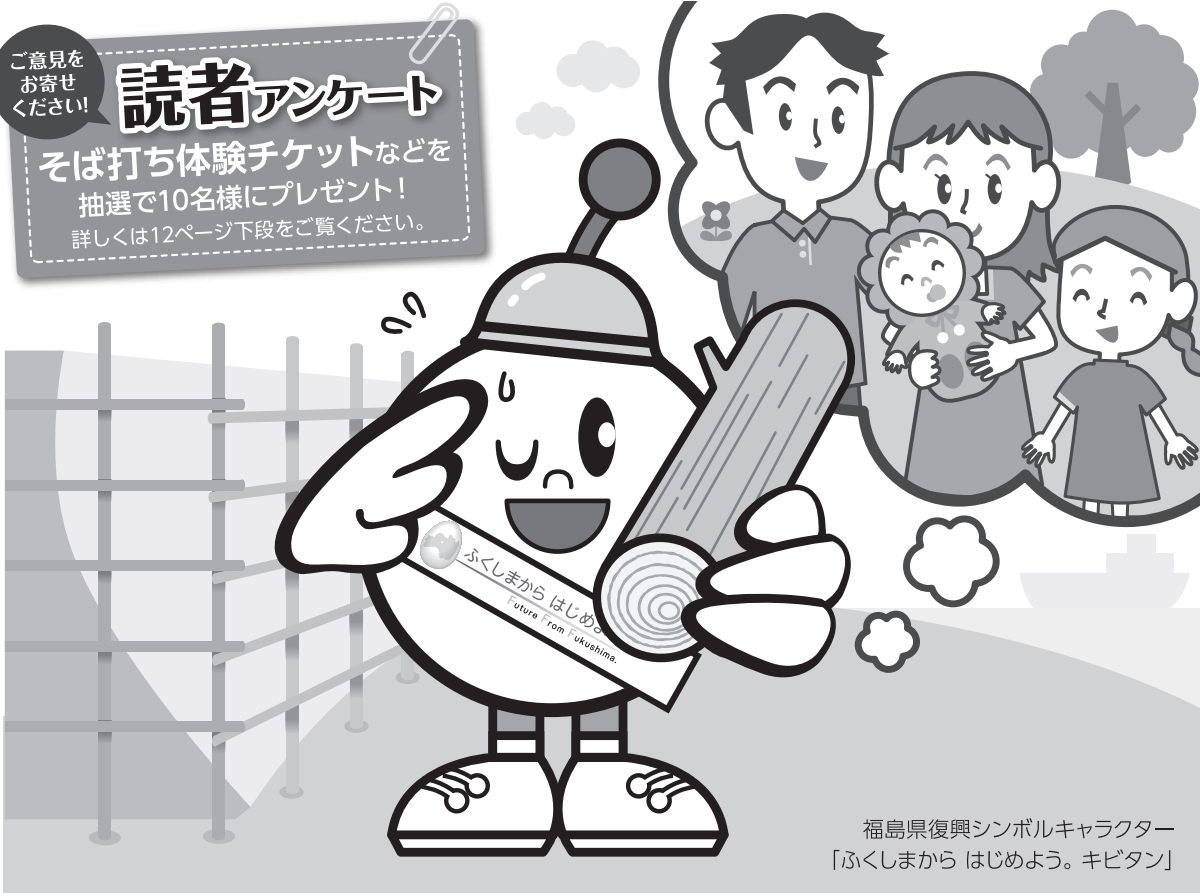
平成25年12月11日(水) vol.14

「ふくしまの今が分かる新聞」では、県内外に避難されている皆さまや被災者支援に携わる多くの方々へ、避難者支援の取り組みや福島の復興に向けた動きなど「今ふくしまが何を行っているか」が分かる情報をお届けします。

ご意見をお寄せください!

読者アンケート

そば打ち体験チケットなどを
抽選で10名様にプレゼント!
詳しくは12ページ下段をご覧ください。



福島県復興シンボルキャラクター
「ふくしまから はじめよう。キビタン」

特集1

災害に強い県土と 活力ある地域づくりを目指して

～浜通りの復旧・復興の加速化に向けた取り組み～

- 海岸堤防等の復旧・整備
- 「ふくしま復興再生道路」の整備
- 復興のまちづくり
- 港湾・漁港の復旧

特集2

ふくしま復興カレンダー2013

～着実に歩む福島の1年の“足跡”をたどる～

※詳しくは次ページをご覧ください。



「ふくしまの今が分かる新聞」のバックナンバーは、県のホームページからもご覧になれます。
ダウンロードしてご利用ください。

[PC]

特集 **2**

お知らせ **6**

原子力
損害賠償 **6**

生活支援 **8**

雇用・経営 **8**

住宅 **10**

医療・介護・
健康 **10**

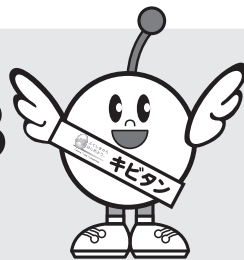
環境放射能
測定結果 **12**

意向調査の
協力依頼 **12**



ふくしま復興カレンダー2013

～着実に歩む福島の1年の“足跡”をたどる～



1/6 大河ドラマ「八重の桜」の放送がスタート!

12日には会津若松市に大河ドラマ館がオープン(平成26年1月14日まで)。福島の魅力伝える「ふくしま八重隊」も出演し、連日多くの観光客で賑わいました。



福島県新島八重マスコットキャラクター「八重たん」

3/3

ふくしま浜街道・桜プロジェクト記念植樹祭

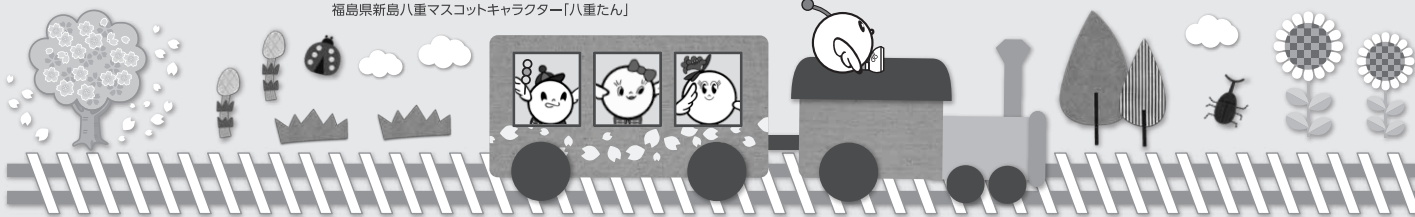
浜通りを縦断する国道6号線沿いに、復興のシンボルとして桜を植樹し、桜並木をつないでいくプロジェクトがスタート。



3/11

3.11 ふくしま復興の誓い2013

東日本大震災から2年の節目の日に、犠牲者への哀悼を捧げるとともに復興への誓いを新たにする催しとして、追悼式典と復興の誓いコンサートを開催。



5/12 地域医療の核となる「会津医療センター」が開設



県立会津総合・喜多方の両病院は、会津地域全体の医療を支える福島県立医科大学会津医療センターとして生まれ変わりました。

6/1・2

「東北六魂祭2013」福島で開幕

約25万人の観客が詰めかけ、東北そして全国の皆さまから熱い思いとエネルギーをいただきました。



他にも明るい

- 2/9 国道115号相馬福島道路[相馬西道路]が全区間において工事に着手
- 3/15 国内最大規模の観光キャンペーン「 destinations・キャンペーン」平成27年春に福島開催決定
- 5/16 2013「全国新酒鑑評会」金賞入賞数、日本一!(過去最高の26銘柄)
- 6/9 川内村「いわなの郷」が2年3ヶ月ぶりに復活オープン!
- 7/15 四倉海岸で3年ぶりに海開き! いわきの観光再生を後押し
- 7/22-23 天皇皇后両陛下が被災地のお見舞いのため県内各地を訪問される
- 7/25~8/7 「未来(あした)への道1,000km東北縦断リレー」青森~東京間を絆で結ぶ



5/23 国道288号 三春西バイパスが全線開通

本県の復興・再生を担う『ふくしま復興再生道路』として、市街地の渋滞緩和や常磐道へのアクセス向上などの利便性が図られ、交流人口の拡大や産業振興に寄与することが期待されています。

③ 被災中小企業施設・設備整備支援事業貸付金について

東日本大震災により被害を受けた中小企業者(中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業の認定を受けた復興事業計画に記載されている被災中小企業者)などが施設・設備の整備を行う場合に、長期・無利子の貸付を行っています。[実績:平成25年10月末時点131件(3,586百万円)]



問い合わせ先 ●(公財)福島県産業振興センター 資金支援課 ☎024(525)4075

④ 就職相談窓口について

次の窓口では、就職相談や職業紹介、仮設住宅などへの巡回相談を実施し、求職者の方の就職を支援しています。

施設名(窓口)	開館日時	場所	電話番号	
ふるさと福島 就職情報センター (窓口相談)	福島	午前10時~午後7時	福島市三河南町1-20 コラッセふくしま2階	024(525)0047
	東京	午前10時~午後6時	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館6階	03(3214)9009
ふくしま 就職応援センター (窓口・巡回相談)	郡山	午前10時~午後7時	郡山市駅前1-14-21 郡山花椿ビル8階	024(925)0811
	白河		白河市郭内1 NTT白河ビル1階	0248(27)0041
	会津若松		会津若松市南千石町6-5 会津若松商工会議所会館2階	0242(27)8258
	南相馬		南相馬市原町区南町1-1 松本ビル2階	0244(23)1239
	いわき		いわき市平字梅本15 県いわき合同庁舎西分庁舎1階	0246(25)7131

※閉館日・日曜日、祝日、12月29日~1月3日

・「ふるさと福島就職情報センター 東京窓口」は、日曜日、祝日、8月13日~15日、12月29日~1月3日

問い合わせ先 ●県庁 雇用労政課 ☎024(521)7290

●ホームページ



⑤ 避難農業者の一時就農支援策について

原発事故等で避難を余儀なくされている農業者がふるさとに戻るまでの間、避難先で一時的に営農を再開するための支援を行っています(県外へ避難されている農業者も対象)。

助成内容は、一農家当たり上限100万円(畜産経営を再開する場合上限150万円)で、営農再開初年度の初期生産資材の購入や施設・機械のリース、地代などに使用することができます。

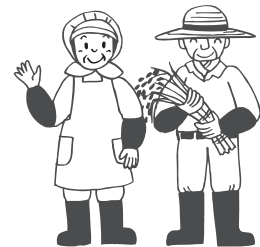
問い合わせ先 ●県庁 農業担い手課 ☎024(521)7340

●県各農林事務所農業振興普及部(営農相談窓口)

●震災時までお住まいだった市町村

⑥ 農家経営安定資金(原発事故対策緊急支援資金)について

原発事故により避難を余儀なくされた農業者を対象に、県内での営農再開のため、必要とする運転資金や施設等の取得資金を融通しています。これまで避難先における花き栽培のためのハウス等の施設資金や、避難区域の見直しに伴い営農再開に向けた農機具購入資金等に活用されています。



問い合わせ先 ●県庁 金融共済室 ☎024(521)7349

●県各農林事務所農業振興普及部(農業制度金融担当)

⑦ 被災した畜産農家向け相談窓口について

原発事故等により避難を余儀なくされた畜産農家を対象に、(公社)福島県畜産振興協会において資金繰りなどの経営に関する相談窓口を設置しました。専門家や技術者による助言等を受けることができます。

問い合わせ先 ●(公社)福島県畜産振興協会 ☎024(522)4222 FAX 024(523)5143

●ホームページ

特集

お知らせ

原子力
損害賠償

生活支援

雇用・経営

住宅

医療・介護・
健康

環境放射能
測定結果

意向調査の
協力依頼



住宅について

① 住宅の二重ローン返済を支援します

東日本大震災により、半壊以上の被害を受けた住宅にローンが500万円以上残っていた方が、福島県内で

- 住宅を購入・建設する場合
- 建物を修繕して居住するために、新たに資金を500万円以上借り入れた(または借り増した)場合

既存の住宅ローン5年分の利子額(上限140万円)を一括補助します。
※平成25年10月時点で139件(約135百万円)ご活用いただいております。

申し込み手続き 新たな住宅資金を借り入れた金融機関を通じて申し込みできます。住宅ローンを取り扱う金融機関や手続きの詳細は、下記ホームページをご覧ください。

問い合わせ先 ●県庁 建築指導課 ☎024(521)8184

●ホームページ



② 「福島復興再生特別措置法における災害復興住宅融資」のお知らせ

原発事故による避難指示区域内に居住していた人は、り災証明書が交付されない場合も災害復興住宅融資(住宅の建設・購入の場合、当初5年間の金利0%など)が利用できるようになりました。

問い合わせ先 ●住宅金融支援機構(災害専用ダイヤル) ☎0120(086)353

●ホームページ

③ 県外に自主避難している子どもまたは妊婦のいる世帯の方へ

県外に自主避難している子どもまたは妊婦のいる世帯(既に自治体が提供している民間賃貸住宅(借上げ住宅)や、公営住宅などに入居している世帯に限る)の方が福島県内へ戻る場合について、借上げ住宅の支援を実施します。

受付窓口 避難元(平成23年3月11日時点の居住地)の市町村役場

- ・市町村を越えて避難した場合で、放射線量の高い場所から低い場所への転居を対象とします。
- ・子どもまたは妊婦のいる世帯とは、平成24年11月1日時点で、子ども(平成23年3月11日時点で18歳以下)または妊婦のいる世帯です。

受付期間 当面の間

問い合わせ先 ●県庁 避難者支援課 ☎024(521)8306

●県庁 建築指導課分室2 ☎024(521)5764



医療・介護・健康について

① 医療を受ける際の一部負担金の免除期間の延長などについて

以下の人については、引き続き医療機関などの窓口負担(1~3割分)は免除となります。

	対象者	延長期間
(1)	原発事故による避難指示区域等の住民(震災発生後、他市町村へ転出した方を含む)	平成26年2月28日まで
(2)	(1)以外で、住家の全・半壊、死亡・行方不明などの要件に該当する方の平成25年3月1日以降の免除は加入されている医療保険によって対応が異なりますので、ご加入の保険者へお問い合わせください。	

▶ 免除証明書の取り扱いについて

有効期限欄に「平成25年3月1日」以降の日付が記載されている新たな免除証明書の提示が必要となります。

問い合わせ先 ●ご加入の各医療保険の保険者の窓口をお願いします。

② 介護サービスを受ける際の利用者負担の免除などについて

以下の人については、引き続き介護サービスの利用者負担(1割分)は免除となります。

	対象者	延長期間
(1)	原発事故による避難指示区域等の住民(震災発生後、他市町村へ転出した方を含む)	平成26年2月28日まで
(2)	(1)以外で、住家の全・半壊、死亡・行方不明などの要件に該当し、介護保険サービスを利用する住民についても、免除される場合があります。詳細は自身が加入する(市町村)にお問い合わせください。	



復興の加速化を戦略的に後押しする

目標

平成23年度から
おおむね10年

「ふくしま復興再生道路」は、避難解除等区域及び周辺の広域的な物流や地域医療、産業の再生を支える幹線道路です。浜通り地方を中心に8路線29工区で工事を進めています。

対象路線：中通りと浜通りを結ぶ主要な国道と県道8路線

- 国道114号 ○国道349号 ○県道原町川俣線 ○県道吉間田滝根線
- 国道288号 ○国道399号 ○県道小野富岡線 ○(仮称)小名浜道路

8路線のうち、既に川俣町小綱木1工区(国道114号)と三春西バイパス(国道288号)、川俣町水境工区(県道原町川俣線)の3工区を供用しています。

※NEXCO東日本株式会社が整備する常磐自動車道(常磐富岡IC～宮城山元IC)は、平成26年度中に開通予定となっています。

常磐道 開通予定区間

検索

県道原町川俣線 水境工区

(平成25年11月29日全線供用)

道路が拡がり、連続カーブが解消されました。



人や物の移動を
しやすくすることで
地域と復興を
結びつけます



港湾・漁港の復旧

地域産業の復興と国際物流を支援する

目標

平成27年度

被災した太平洋に面する5港湾、10漁港について、現在73%で工事に着手(32%で完了)しています。岸壁などの主要施設は平成25年度、その他の施設は平成27年度までの完了を目指し、国や市町村等と密に連携しながら取り組んでいます。

5の港湾

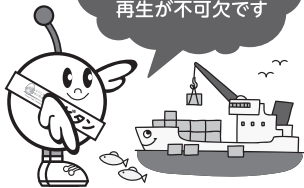
相馬港、久之浜港、
中之作・江名港、小名浜港



10の漁港

釣師浜、松川浦、真野川、請戸、富岡、
久之浜・四倉、豊間、小浜、勿来

浜通りの復興には
港湾、漁港施設の
再生が不可欠です



「内航フィーダコンテナ航路」の再開

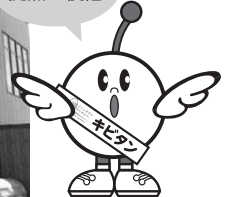


相馬港(相馬市)

道の駅「よつくら港」リニューアルオープン
(平成24年8月11日)



にぎわい
拠点の復旧



復旧に携わる方へのインタビュー

住民の思いを胸に、職務に邁進する

福島県相双建設事務所 まつむら ひろゆき
※島根県から平成25年4月より派遣 **松村 博之 (40歳)**

復興まちづくり、復興IC(インターチェンジ)計画の調整業務を担当

福島県には、
全国から300名以上
(県・市町村含む)の方々が
応援職員として復興に
尽力しています

震災発生当時、テレビから流れてくる映像に驚きを隠しきれず、その状況に言葉を失い、啞然とした気持ち、今でもハッキリと覚えています。今年4月、島根県から被災地の復旧支援のため着任し、住民の方々が安心して暮らせる災害に強いふるさとの実現に向け、市町村と連携しながら「復興まちづくり計画」の策定業務に奔走しています。日々重責を感じながら職務に取り組んでいますが、計画の策定に向けたワークショップでは、困難な状況から立ち上がろうと力強く生き抜く地元の方々との向き合い、自分自身が励まされ、復興への想いが一層強まるばかりです。必ずや福島は立ち直り、そして復興する! そう信じ、少しでも皆さんの力になれるよう邁進していきたいと思っています。

皆さまと巡り会えたのも何かの「縁」。私の派遣元・島根には、縁結びの神様で有名な「出雲大社」があります。この縁を大切に、ふくしまとの「絆」を深めていきたい、そう願っています。

ふくしまのインフラ復旧・復興に関する情報はこちら!

週1回
配信

土木部メールマガジン

公共土木施設の復旧状況、道路通行規制情報等を配信しています。配信を希望される方は、下記のメールアドレスに「土木部メルマガ希望」と記入し、「居住市町村名」をお書き添えのうえ、メールを送信してください。

✉ doboku_mailmagazine@pref.fukushima.lg.jp



※QRコードからも
受付可能です。

毎月発行

復旧・復興インフォメーション

県内各地のインフラの復旧・復興に関する情報をレポート形式でお届けしています。



福島土木企画課インフォ

検索

問い合わせ先

●県庁 土木部土木企画課(浜通り復興加速化・見える化チーム) ☎024(521)7886



お知らせ

① 「ふくしま避難者交流会」開催のお知らせ

福島県と東京都の共催でふくしまの“元気と魅力”を首都圏で発信する「ふくしま大交流フェア」の開催にあわせ、首都圏に避難されている方々を対象にした交流会を開催します。皆さん、ぜひふるさとの笑顔に会いに来てください。

- ◆ 日時 平成25年12月23日(祝・月) 午後2時～午後4時45分
- ◆ 場所 東京国際フォーラム ホールD5(東京都千代田区丸の内3-5-1)
- ◆ 内容 ふるさと交流会、専門家による個別相談会、パネル写真展 等

問い合わせ先 ● 県庁 避難者支援課 ☎024(523)4250



▲去年開催された「交流会」の様子

みんな笑顔で、「福」満開！ ふくしま大交流フェア

福島県から100を超えるブースが出展！“スプリゾートハワイアンズ”のフラガールによるステージショーなどの多彩なイベントに加え、「なみえ焼そば」や福島伝統の「円盤餃子」など福島の食も満載！（入場無料）

- ◆ 日時 平成25年12月23日(祝・月) 午前11時～午後5時
- ◆ 場所 東京国際フォーラム 展示ホール、地上広場



② 「夜の！ぱぱカフェ@ふくしま」

ご家族が避難生活を送っている・ご家族が避難生活から戻ってきたパパへ

離れて暮らす家族のこと、自分自身の生活のこと、普段言えない本音と同じ経験をしているパパ同士で話してみませんか？まずは集まって、いろいろな話をすることからスタートしたいと思います。ぜひ、お気軽にご参加ください。

- ◆ 日時 平成25年12月19日(木)
平成26年 1月16日(木)
午後7時～
- ◆ 会場 ホテル板倉(本館) 福島駅東口より徒歩3分
- ◆ 会費 2,500円(飲食代)

家族と離れて、ひとりでの生活。
男だって話したいこと、あるよ

これから冬になると
長距離運転で疲れるよな～

※この事業は日本ユニセフ協会の東日本大震災父子家庭+父親支援プロジェクトの助成を受けています。

参加申し込み

- 東日本大震災中央子ども支援センター福島窓口
☎024(573)0150 FAX 024(573)0151
(福島県福島市太田町14-3 2階 東日本大震災中央子ども支援センター内)
✉info-ccscd@beans-fukushima.or.jp
- ホームページ <http://ccscd.beans-fukushima.or.jp>



原子力損害賠償について

① 東京電力への問い合わせ先について

原子力損害賠償の請求手続きをサポートするため、東京電力は説明会の開催、相談窓口の開設を行っております。請求手続きの相談については、下記コールセンターへお問い合わせください。

- ◆ 原子力損害賠償全般に関する問い合わせ

福島原子力補償相談室(コールセンター) ☎0120(926)404 (毎日:午前9時～午後9時)

- ◆ 土地・建物・家財の賠償に関する問い合わせ

福島原子力補償相談室(土地・建物・家財専用ダイヤル) ☎0120(926)596 (毎日:午前9時～午後9時)

- ◆ 自主的避難等に関する問い合わせ

福島原子力補償相談室(自主的避難等ご相談専用ダイヤル) ☎0120(993)724 (毎日:午前9時～午後9時)

② 各種相談窓口等について (更新)

円滑な原子力損害賠償の請求手続きを支援するため、県、国等の機関がそれぞれ相談窓口を開設しています。

① 県

- ◆原子力損害の賠償等に関する問い合わせ窓口 ☎024(523)1501 (平日:午前8時30分～午後5時15分)
・弁護士による電話での法律相談:毎週水曜日 午後1時～午後5時 (※同じ電話番号で受付)

◆巡回法律相談

・弁護士による巡回法律相談を県内7方で実施しています。
※日程や会場など詳細については、県HP「原子力損害の賠償」をご覧ください。

◆原子力損害賠償(宅地・建物)に係る不動産鑑定士の巡回相談

東京電力からの財物賠償のうち、宅地・建物に関する損害賠償請求手続きについて、不動産鑑定士による対面の相談を実施しております。対象者は、東京電力から送付される「宅地・建物・借地権賠償金ご請求書②」が手元に届いている方(個人)とします。

- 相談できる内容
- ◎ 宅地・建物の賠償金の見方や算定の方法について
 - ◎ 宅地・建物の「現地評価」の実施について

この宅地・建物等の損害賠償請求手続きを開始するためには、市町村から送付された「課税明細書」(※南相馬市の方は「固定資産課税台帳記載情報の取得に関する委任状」)を東京電力に送付する必要があります。

※なお、日程や会場など詳細については、県HP「原子力損害の賠償」をご覧ください。
(相談を希望される場合、事前の予約が必要となります)

② 国

- ◆文部科学省 (原子力損害賠償制度や原子力損害賠償紛争審査会に関すること)
☎03(5537)0245 (平日:午前9時30分～午後6時15分)

- ◆経済産業省・原子力損害対応室 ☎03(3501)1511 (代表)

- ◆原子力損害賠償紛争解決センター ☎0120(377)155 (平日:午前10時～午後5時)

※原子力事業者に対する損害賠償請求について、和解の仲介により円滑、迅速かつ公正に紛争を解決することを目的として設置された公的な紛争解決機関です。

【第一東京事務所】東京都港区西新橋1-5-13(第8東洋海事ビル 9階)

【第二東京事務所】東京都港区新橋1-9-6(COI 新橋ビル 3階)

【福島事務所】福島県郡山市方八町1-2-10(郡中東口ビル 2階)

- 県北支所 福島市霞町1-52(福島市市民会館 503号室)
- いわき支所 いわき市平字堂根町1-4(いわき市文化センター 第2会議室)
- 会津支所 会津若松市一箕町松長1-17-62
- 相双支所 南相馬市原町区錦町1-30(福島県南相馬合同庁舎 403会議室)

③ 原子力損害賠償支援機構

- ◆電話相談 行政書士による無料相談 ☎0120(013)814 (毎日:午前10時～午後5時)

- ◆対面相談 弁護士による無料相談 (事前予約制、1回1時間以内)

【機構本部】東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館5階

☎0120(013)814(午前10時～午後5時)

【福島県内外】開催日程については、原子力損害賠償支援機構HP(<http://www.ndf.go.jp/>)でご確認ください。

☎0120(330)540(午前9時～午後5時)

④ 弁護士会、司法書士会、行政書士会など

問い合わせ先	
福島県弁護士会	弁護士に電話で相談したい場合 震災・原発無料電話相談窓口 (平日:午後2時～午後4時) ☎024(534)1211(福島) ☎024(925)6511(郡山) ☎0246(25)0455(いわき)
	弁護士に本格的に相談したい場合 原子力発電所事故被害者救済支援センター (平日:午前10時～午後3時) ☎024(533)7770
日本司法支援センター(法テラス)	相談受付電話番号 ☎0120(078)309 (平日:午前9時～午後9時、土曜日:午前9時～午後5時)
福島県司法書士会	ふくしま司法書士電話相談(無料電話相談) ☎024(533)5539 相談受付時間(平日:午前10時～午後0時30分、午後1時30分～午後4時) ※受付後、相談担当司法書士とご相談になります。
	福島県司法書士会総合相談センター(無料相談予約受付) ☎024(533)5539(福島) ☎024(946)5556(郡山) ☎0242(29)3155(会津) ☎0248(23)1785(白河) ☎0244(24)0428(相双) ☎0246(62)3210(いわき) 予約受付時間(平日:午前10時～午後0時30分、午後1時30分～午後4時)
福島県行政書士会	福島県行政書士会総合相談センター ☎024(942)0022 相談受付時間(平日:午前10時～午後4時)
行政書士会連合会	日本行政書士会連合会被災者相談センター(無料電話相談および対面相談) ☎0800(800)3200



生活支援について

① 原発避難者特例法による行政サービスについて

下記の該当市町村から住民票を移さずに避難している人は、原発避難者特例法に基づき、避難先の自治体で医療福祉事務(要介護認定など)、教育事務(児童生徒就学など)に関する行政サービスを受けられます。

※該当市町村から住民票を移した人で、避難元自治体からの情報提供などを希望される場合、各市町村で手続きをお願いします。

問い合わせ先 (該当市町村)

- ◆いわき市 ☎0246(22)1111
- ◆田村市 ☎0247(81)2111
- ◆南相馬市 ☎0244(24)5223
- ◆川俣町 ☎024(566)2111
- ◆広野町 ☎0240(27)2111
- ◆楡葉町 ☎0246(46)2551
- ◆富岡町 ☎0120(33)6466
- ◆川内村 ☎0240(38)2111
- ◆大熊町 ☎0242(26)3844
- ◆双葉町 ☎0246(84)5200
- ◆浪江町 ☎0243(62)0123
- ◆葛尾村 ☎0247(61)2850
- ◆飯館村 ☎024(562)4200

●県庁 市町村行政課 ☎024(521)7057

② 東日本大震災子ども支援基金給付金のご案内

東日本大震災により保護者が死亡または行方不明となった児童(孤児・遺児)の生活と修学を支援します。

◆対象者(全てに該当する方)

- ①平成23年3月11日現在で18歳未満だった方
- ②平成23年3月11日現在、生計を一にし、現に養育をしていた保護者が震災により死亡し、または行方不明となっている方で、満24歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある方
- ③前記②の保護者が、震災発生時に福島県内に住所を有していた方
- ④他の都道府県から、本給付金と同様の資金の給付を受けていない方



◆内容

給付金の内容(種類・給付額)は、次のとおりです。

種類	対象時期	給付額		種類	対象時期	給付額	
		孤児	遺児			孤児・遺児	
月額金	未就学児童	30,000円	20,000円	一時金	小学校入学時	30,000円	
	小・中学校に在籍する児童・生徒	40,000円	30,000円		小学校卒業時	50,000円	
	高等学校等に在籍する生徒	50,000円	40,000円		中学校卒業時	100,000円	
	大学・専門学校等に在籍する学生	60,000円	50,000円		高等学校卒業時	300,000円	

問い合わせ先 ●県庁 児童家庭課 ☎024(521)7174



雇用・経営について

① 中小企業などの二重債務に関する相談窓口について

「福島県産業復興相談センター」では、中小企業の皆さんの二重債務問題や事業の再開・再生に向けた支援を行っています。金融機関出身者、税理士などの専門家が、皆さんからの相談受付から債権買取を通じた返済負担の軽減などの具体的な支援まで一貫してサポートします。

詳しくは、下記のお問い合わせ先、または最寄りの商工会議所、福島県商工会連合会広域指導センター、商工会へお問い合わせください。

問い合わせ先 ●福島県産業復興相談センター ☎024(573)2561

福島市置賜町1-29 佐平ビル9階 午前8時30分～午後5時15分(土日、祝日を除く)

●ホームページ [福島県産業復興相談センター](#)

●(公財)福島県産業振興センター 総務企画課 ☎024(525)4070

●県庁 経営金融課 ☎024(521)7291

② 特定地域中小企業特別資金について

原発事故により県内移転を余儀なくされた中小企業などを対象に、事業資金の融資のほか、避難区域が解除となった地域などでの事業継続・再開向け長期・無利子無担保の融資を実施しています。[融資決定実績:平成25年10月末時点742件(12,479百万円)]

問い合わせ先 ●(公財)福島県産業振興センター 原発災害対策特別融資チーム
☎024(534)0948

今年1年を振り返って

今年も残すところわずかとなりました。県内外に避難されている県民の皆様の御苦労に心から御見舞いを申し上げます。この一年を振り返りますと、本県を舞台とした大河ドラマ「八重の桜」で幕を開け、東北六魂祭の開催や全日本合唱コンクールでの中高生の活躍、さらには「浪江焼麺太国」のB-1グランプリ日本一など明るい話題が数多くありました。また、いわき沖での試験操業の開始、浮体式洋上風力発電の運転開始、県営復興公営住宅の着工など、復興の動きが着実に形として現れてまいりました。

こうした復興への流れをより確かなものにするため、山積する課題を一つ一つ解決し、皆様が一日も早く元の穏やかな生活を取り戻せるよう、全力で取り組んでまいります。

福島が復興・再生を成し遂げるためには、皆様の力が必要です。これからも一緒に頑張ってまいります。



福島県知事
佐藤 雄平

9/21-22

ご当地キャラ
こども夢フェスタin白河



10/19

ふたばワールド 2013



復興に向けたイベントが各地で開催

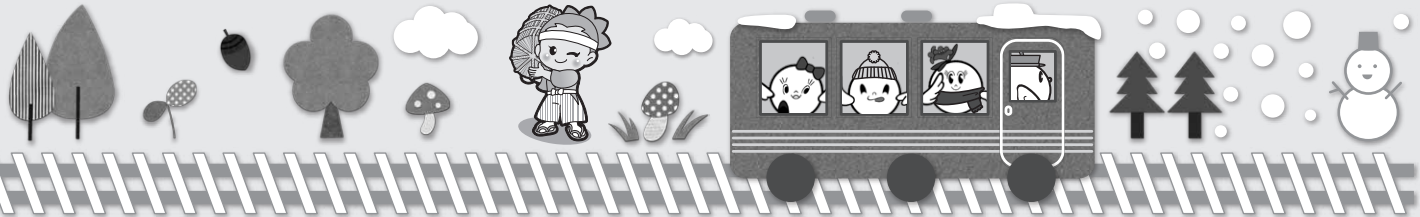
「ご当地キャラこども夢フェスタin白河」や17万5千人が来場した「マツダオールスターゲーム・ふくしま復興祭」、双葉郡8町村が一丸となって盛り上げた「ふたばワールド2013」など、被災地の元気な姿を発信しました。

10/18



いわき地区で、 震災後初の試験操業が始まる

震災から2年7ヶ月。いわき地区で試験操業が始まり、「メヒカリ」など新鮮な魚が市場に出荷されました。



11/11

福島復興・浮体式洋上 ウインドファーム 実証研究事業が始まる

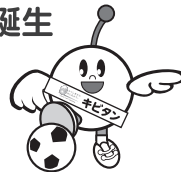
再生可能エネルギー先駆けの地を目指し、広野・楡葉町沖合で風車「ふくしま未来」、変電所「ふくしま絆」の運転が開始!



提供:福島洋上風力コンソーシアム

11/19

本県初の Jリーグクラブ 誕生



県内をホームタウンとする福島ユナイテッドFCが、来シーズンから創設されるプロリーグ「J3」で躍動します。

トピックスが!

10/5

ふくしまからはじめよう。
「食」と「ふるさと」新生運動推進本部を設立

10/25

プロ野球ドラフト会議、福島県から17年ぶりに3選手が
同時指名される

10/27

▶ 合唱王国ふくしま健在! 郡山二中と郡山五中が金賞受賞
澄んだ歌声が希望の光に(全国合唱コンクール)
▶ 復興に向かう本県の姿を世界に発信!
「第7回太平洋・島サミット」が平成27年にいわき市で開催決定

11/3

被災地に元氣と感動を!
東北楽天イーグルスが創設9年目で初の日本一に

11/10

ご当地グルメによる町おこしの祭典B-1グランプリで
「なみえ焼そば」に栄冠



被災者支援に関する主な動き

4/1

▶ 全国から本県の復興支援のため応援職員308名
(県・市町村含む)が着任
▶ 応急仮設住宅の供与期間の延長を各都道府県に
対して要請

4/26

母子避難者等を対象とした高速道路の無料化措置が
始まる

6/14

復興公営住宅の「第一次整備計画(3,700戸)」を策定

8/1

ふるさとへの帰還に向けた準備のための宿泊制度が始まる
(田村市都路)

8/8

避難指示区域11市町村全ての区域再編が完了

9/19

復興大臣に「子ども・被災者支援法基本方針(案)」に
対する緊急要望を行う